

平成 18 年度 旧司法試験 最終試験結果

旧司法試験合格者 549 人(前年 1,464 人)、
合格率は史上最低の 1.8% !

東大 92 人、早大 85 人、慶大 57 人、中央大・京大 43 人

旺文社 教育情報センター

平成 18 年 11 月

平成 18 年度の司法試験第二次(最終)試験結果が 11 月 9 日、法務省から発表された。最終合格者は 549 人と当初の予定(法務省・司法試験委員会見解)である 500~600 人の範囲内。そのため、対受験者合格率は史上最低の 1.81%と極めて厳しい“狭き門”となった。18~23 年度は旧・新司法試験の併行実施期間だが、ここでは、新司法試験の結果と合わせて考察してみた。

出願者は 22%減の 3 万 5,782 人 !

旧司法試験(以下、旧試験)の出願者数は 17 年度より 7,103 人(22.0%)減少して 3 万 5,782 人となり、15 年の 5 万 166 人をピークに減少を続けている。受験者数も 3 万 248 人と、17 年度より 9,180 人(23.3%)減少(図 3 参照)。

最終合格者数は 915 人(62.5%)減の 549 人となり、平成元~2 年の水準。その結果、受験者数に対する合格率は 1.81%(17 年度より 1.90 ポイントの大幅ダウン)と、史上最低を記録した。

また、合格者数の男女別内訳を見ると、男性 431 人(17 年度 1,114 人)女性 118 人(同 350 人)となり、男子の構成比が 17 年 76.1% 18 年 78.5%とアップした。

合格者の平均年齢は 29.33 歳(同 29.03 歳)で、年齢別構成を見ると、「24 歳以下」が 17 年度 262 人(17.9%) 18 年 99 人(18.0%)「25 歳以上」は 17 年度 1,202 人(82.1%)

18 年 450 人(82.0%)と、その構成比はほぼ同じ。大学在学中の合格者数は 87 人で、17 年度に比べて 124 人(58.8%)減少したが、全合格者に占める割合は 17 年度より 1.4 ポイントアップし、15.8%となった。

新試験 VS . 旧試験

< 新試験の平均合格率は 48.2% >

右表(表 1)のデータで注目すべきは、新司法試験(以下、新試験)の合格率 48.25%だ。旧試験よりもはるかに合格しやすくなったのは確かだが、それでも当初の設定に比べると低い。

そもそも、新試験は法科大学院の修了者の 7~8 割が合格できるよう構想されていた。とこ

受験者データ 旧新比較 (表 1)

		()内は新試験
受験者	30,248 人	(2,091 人)
合格者	549 人	(1,009 人)
合格率	1.81 %	(48.25%)
平均年齢	29.33 歳	(28.87 歳)
年齢層	20~58 歳	(23 歳~58 歳)

注：18 年度は旧新試験が並行実施された。同年度での旧新の併願はできない。

るが、16年度開校の法科大学院は68校。予測を上回る約5,800人が入学した。そのため、当初の合格者予定数では合格率が2～3割相当にしかならず、初年度の合格者予定数が900人から1,000人前後へと上方修正された経緯がある(図1参照)。

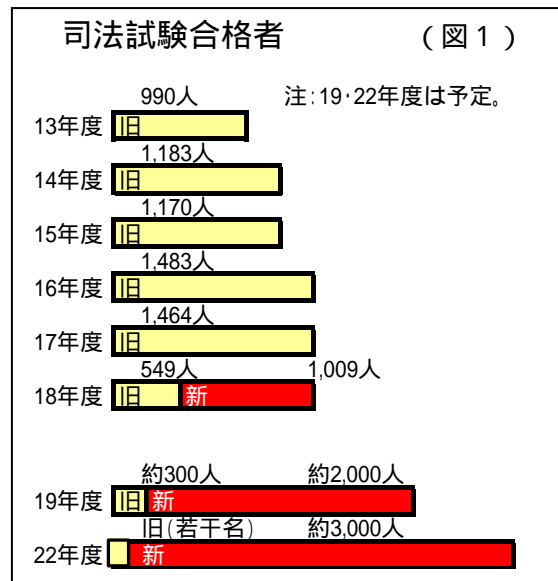
今後の新試験合格者予定数として、19年度は18年度の2倍程度で約2,000人、最終的に22年度までに合格者数を約3,000人程度にすることとしているようだが、19年度以降は3年コースの修了者と前年度不合格者が大量に再受験するために、合格率は2～3割程度に留まるだろうと予測されている。

< どうする、旧試験志願者 >

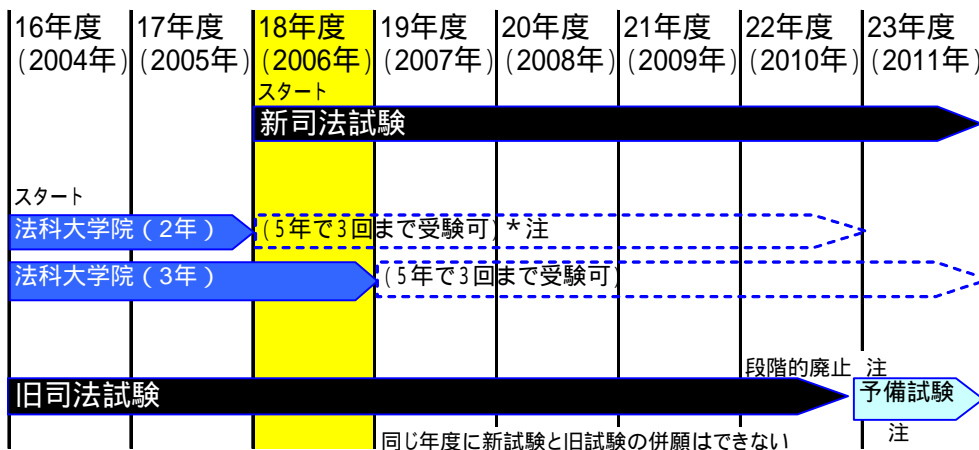
法務省からの発表がないため正確な数はつかめないが、今回の旧試験にチャレンジし合格した法科大学院在学学生は相当数いたと推測される(法科大学院生を含め、24歳以下の合格者は99人)。因みに、千葉大の合格者2人は法科大学院生であったという。法科大学院生には旧・新合わせて、5年間で3回の受験しか許されていない。過去問から受験対策が立てやすいとはいえ、厳しい合格率へのチャレンジ志向に対しては評価できる。

上記(図1)にもあるように法務省の予定では、旧試験の合格者は年々減少する。一方、18年度の旧試験不合格者は3万人近くいる。今後も現役大学生や法科大学院生の旧試験合格者は出るだろう。結果、従来型の受験者の合格への門はますます狭くなろう。司法試験合格への道は、(ア)23年度から実施される「予備試験」(この試験に合格すると、法科大学院を修了しないで新試験を受験できる。具体的内容は未定)に合格する、(イ)法科大学院に入学し、再チャレンジするしか残されていない。

今後、救済策としての「予備試験」の内容・難易等が論議されるだろう。



平成23年度までの旧・新司法試験のしくみ (図2)

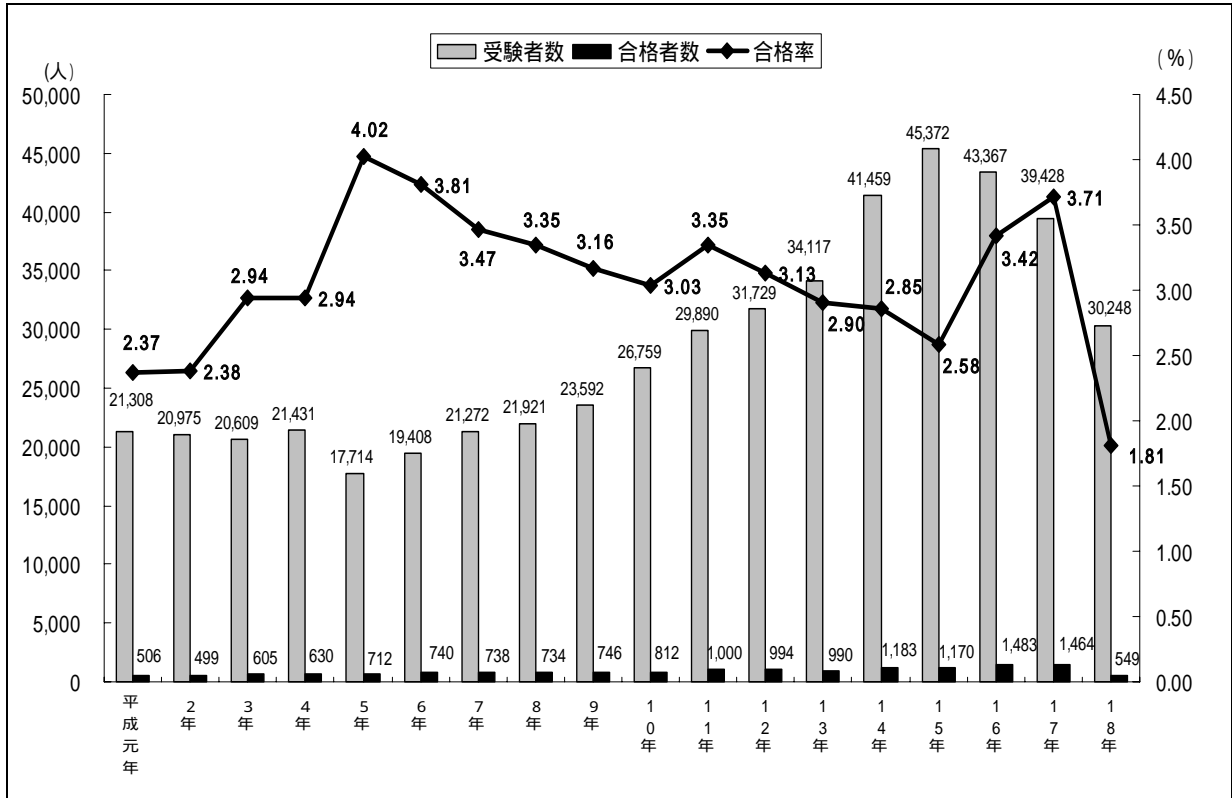


*注 既修コース入学者が法科大学院在学中に旧試験(2次)を受験した場合も、受験回数にカウントされる。
 *注 23年度の旧試験は、前年度の二次試験(筆記試験)の合格者に限定して、口述試験のみ実施される。
 *注 予備試験に合格すると、法科大学院を修了しないで新司法試験を受験できる。

旧司法試験結果の推移

(図3)

平成の時代に入り、政府は司法制度改革の一環として、法曹人口の増加を目指した。その結果、司法試験合格者は16年度にピークの1,483人に達し、17年度も1,464人を数えた。因みに、平成元年度～17年度の平均合格率は3.12%であった。16年度から法科大学院が開校し、18年度より司法試験が旧・新の併行実施になったため、旧試験の合格者枠が縮小され、合格率は1.81%まで低下した。



旧司法試験/出身大学別合格者数

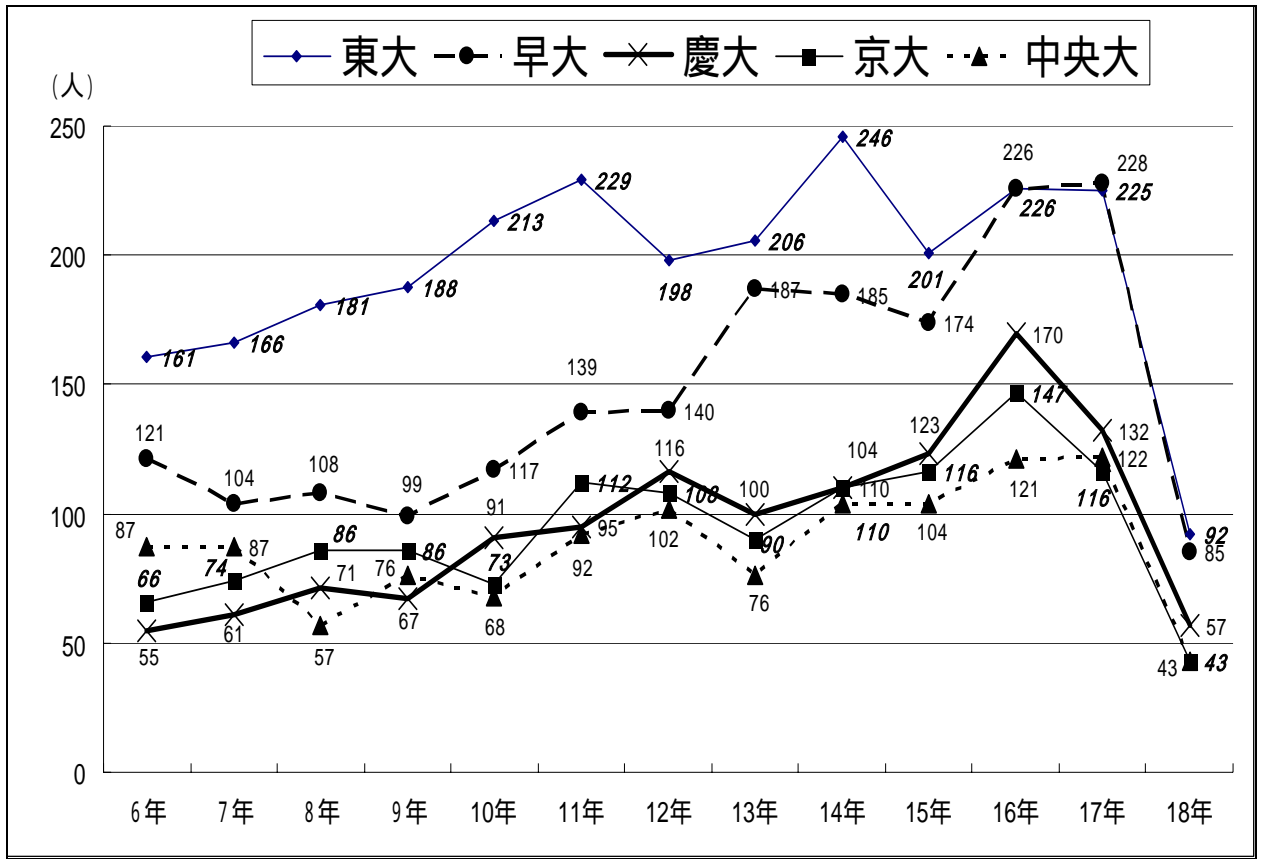
(表2)

順位	大学名	18年度	17年度	順位	大学名	18年度	17年度	順位	大学名	18年度	17年度
1	東大	92	225	21	大阪市大	4	13	35	大阪外大	1	1
2	早大	85	228	21	筑波大	4	5	35	大阪府立大	1	1
3	慶大	57	132	21	龍谷大	4	2	35	北九州市大	1	1
4	中央大	43	122	27	名大	3	32	35	三重大	1	1
5	京大	43	116	27	熊本大	3	4	35	信州大	1	1
6	明治大	18	28	27	南山大	3	3	35	東京理大	1	0
7	同志社大	17	48	27	岡山大	3	1	35	武蔵大	1	0
8	上智大	15	24	30	千葉大	2	9	35	久留米大	1	0
9	一橋大	14	51	30	広島大	2	8	35	東京薬大	1	0
9	北大	14	30	30	金沢大	2	6	35	信山女子大	1	0
11	阪大	12	57	30	静岡大	2	4		上記以外大	0	54
12	関西大	10	30	30	成蹊大	2	3		その他・一次合	3	1
12	神戸大	10	30	30	東京外大	2	2		合計	549	1,464
14	首都大	9	4	30	津田塾大	2	2		対17年度	915人	
15	東北大	6	29	30	京都産大	2	1			62.5%	
15	立命館大	6	26	30	放送大	2	0				
15	青山学院大	6	11	35	専修大	1	8				
18	立教大	5	19	35	創価大	1	7				
18	日本大	5	14	35	明治学院大	1	2				
18	学習院大	5	8	35	東洋大	1	2				
21	九大	4	23	35	埼玉大	1	2				
21	法政大	4	22	35	獨協大	1	1				
21	関西学院大	4	13	35	東京学芸大	1	1				

第一次試験は、大学において
学士の学位を得るのに必要な一般教養
科目の学習を終わった者等については
免除。

旧司法試験合格者数/上位5大学の推移

(図4)



18年度 旧・新司法試験合格者数の大学別状況 (図5)

(単位;人)

順位	旧試験		新試験	旧+新試験	
	大学名	人数	人数	人数	順位
1	東大	92	120	212	1
2	早大	85	12	97	5
3	慶大	57	104	161	3
4	中央大	43	131	174	2
5	京大	43	87	130	4
6	明治大	18	43	61	6
7	同志社大	17	35	52	8
8	上智大	15	17	32	12
9	一橋大	14	44	58	7
9	北大	14	26	40	10
11	阪大	12	10	22	18
12	関西大	10	18	28	14
12	神戸大	10	40	50	9
14	首都大学東京	9	17	26	16
15	東北大	6	20	26	16
15	立命館大	6	27	33	11
15	青山学院大	6	5	11	27
18	立教大	5	7	12	25
18	日本大	5	7	12	25
18	学習院大	5	15	20	20
21	九大	4	7	11	27
21	法政大	4	23	27	15

旧試験			新試験	旧 + 新試験	
順位	大学名	人数	人数	人数	順位
21	関西学院大	4	28	32	12
21	大阪市大	4	18	22	18
21	筑波大	4	0	4	40
21	龍谷大	4	0	4	40
27	名 大	3	17	20	20
27	熊本大	3	1	4	40
27	南山大	3	5	8	32
27	岡山大	3	4	7	33
30	千葉大	2	15	17	22
30	広島大	2	3	5	35
30	金沢大	2	1	3	45
30	静岡大	2	0	2	49
30	成蹊大	2	11	13	23
30	東京外大	2	0	2	49
30	津田塾大	2	0	2	49
30	京都産大	2	0	2	49
30	放送大	2	0	2	49
35	専修大	1	9	10	29
35	創価大	1	8	9	30
35	明治学院大	1	8	9	30
35	東洋大	1	4	5	35
35	埼玉大	1	0	1	58
35	獨協大	1	0	1	58
35	東京学芸大	1	0	1	58
35	大阪外大	1	0	1	58
35	大阪府立大	1	0	1	58
35	北九州市大	1	0	1	58
35	三重大	1	0	1	58
35	信州大	1	0	1	58
35	東京理大	1	0	1	58
35	武蔵大	1	0	1	58
35	久留米大	1	1	2	49
35	東京薬大	1	0	1	58
35	椙山女学園大	1	0	1	58
	愛知大	0	13	13	23
	山梨学院大	0	6	6	34
	新潟大	0	5	5	35
	甲南大	0	5	5	35
	横浜国大	0	5	5	35
	大東文化大	0	4	4	40
	神奈川大	0	4	4	40
	福岡大	0	3	3	45
	白鷗大	0	3	3	45
	近畿大	0	3	3	45
	名城大	0	2	2	49
	西南学院大	0	2	2	49
	駿河台大	0	2	2	49
	国学院大	0	1	1	58
	島根大	0	1	1	58
	駒澤大	0	1	1	58
	関東学院大	0	1	1	58
	上記以外の大	0	54	54	
	その他・一次合	3	1	4	
合 計		549	1,009	1,558	

注：大学学部卒業者が、同一大学の法科大学院へ進学したとは限らない。